

## 自費診療での光トポグラフィー（NIRS）検査のご案内

### 光トポグラフィーとは？

光トポグラフィー検査は、脳の活動に伴う血液の変化を測定することで脳の状態を評価する検査のことです。身体への負担が少なく、心の病気の細かい診断の補助となることが期待されています。

### なぜ光トポグラフィーが必要なの？

気分の落ち込み（うつ）は様々な精神疾患にみられる症状のため、うつ症状があるからと言ってうつ病の診断はつけられません。しかも、うつ症状の原因疾患によって、治療法やお薬の種類が大きく変わります。

光トポグラフィーの検査を受けることで、6割から8割の確率でうつ病か、双極性障害（躁うつ病）または統合失調症なのかを補助的に診断することができると報告されています。ただし、この検査の結果が、精神疾患の有無を確定したり、診断名を証明したりするものではありませんので注意が必要です。

### 自費診療で光トポグラフィー検査の対象となる患者さん

この検査の対象となる患者さんは以下のいずれかの条件をみたす患者さんです

- ① 抑うつ症状を有している
- ② 治療抵抗性であり、統合失調症・双極性障害が疑われる症状を呈していること等により、うつ病と統合失調症または双極性障害との鑑別が必要である

### 自費診療での光トポグラフィー検査の受け方

- ① 当科に通院中の方は自費診療でお受けすることができません
- ② 当院他科に通院中の方はお受けできます
- ③ 他院通院中の方は、まずかかりつけ医に相談うえ、検査を受けるかどうかご検討ください。紹介状はお持ちいただいたほうが助かりますが、必ずしも必要ではありません。
- ④ 現在精神科に通院しておらず、うつ症状にお困りの方は、診察のうえ検査の必要性をお伝えさせていただきます
- ⑤ 自費診療は**完全予約制**になります。当院にお電話いただき、メンタルヘルス科外来におつなぎください。ご予約のご案内をさせていただきます。**計2回**のご来院が必要です。初回は医師による診察と検査予約、2回目は光トポグラフィー検査と検査結果のご説明をさせていただきます。

※ 自費診療の料金は10,000円（税抜）になります。（2017年10月現在）

## 検査の流れ

- ① 特に事前に準備していただくものはありません
  - ② 検査室に案内後、頭に装置を付けます  
検査用の帽子を被り、頭部に近赤外光を当てます
  - ③ 装置を付けた後に、簡単な課題を実施します  
言語流暢性課題（前頭葉機能を図る検査）を行う際の脳の血流状態を測定します。  
検査は音声指示に従って、言葉を言っていただく簡単なものです。
- ※ 検査は全体で 20 分程度です
- ※ 本検査で使用する近赤外光は弱い光を使用しており、  
現在のところ副作用等の有害事象の報告はありません。

## 診察初診日

火曜日

## お問い合わせ

東京医科大学病院  
メンタルヘルス科外来受付  
03-3342-6111（代表）

